



碧の風

千葉市立川戸中学校
校報 第4号
令和5年7月14日

川戸の夏

校長 板垣 章子

夏を迎え、中学生にとっての大きなイベントである「総体」が、市内の各会場で行われています。正式には「第76回千葉市中学校総合体育大会」で、運動部活動等で練習に打ち込んできた選手約9000人が73会場に集い、8日間にわたって熱戦を繰り広げています。

本校では、まず6月30日に生徒会の企画・運営による「総体壮行会」が行われました。出場する選手自身による決意表明と、全校生徒による激励・応援の場とすることを目的とし、当日は本校の学校評議員の皆様にも参観いただくことができました。野球部、ソフトテニス部、バスケットボール部、卓球部の4つの運動部の選手たちがユニフォーム姿で堂々と体育館に入場し、順番にステージの上でそれぞれの抱負を力強く語りました。心のこもった生徒会長の話や代表生徒激励の言葉を受け、各部の部長たちによる堂々とした誓いの言葉も発せられました。応援する側もされる側も、爽やかに勢いのある壮行会となりましたが、特にコロナ禍の制約を受けながらも頑張ってきた3年生の姿には、胸を打つものがありました。

総体の試合は7月8日から始まっており、本校でも、すでに大会に出場したチームもあれば、これから初戦に臨むチームもあります。残念ながら敗退したチームもあります。頑張ったことや悔しかったことの一つ一つが、未来を生きる生徒たちの成長を、いろいろな場面で支えてくれることでしょう。

明日からは、いよいよ夏休みです。今年は「川戸地区盆踊り大会」が4年ぶりに行われます。コロナ前は2日間にわたり実施していたものが縮小した形での復活となるそうですが、お盆の真ただ中に学校のグラウンドで行われる夏祭りというものは、千葉市内でも珍しいのではないかと思います。子供たちのため、そして地域を盛り上げたいという郷土愛にあふれる住民の皆様のお思いが込められた、素晴らしい祭りになることと期待しています。

日本の夏は高温多湿で、体調を崩しやすい時期となります。工夫しながら、健康で楽しくお過ごしください。夏休みを終えた生徒たちが、リフレッシュして学校生活をスタートできるように、保護者の皆様や地域の皆様のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



C組農園でぐんぐん育つ夏野菜